

改訂版 Q & A 「成年後見」実務ハンドブック (2009年6月23日発行) の
訂正のお知らせ

正誤表

誤

正

1. はじめに

4 頁の 22 行目から 31 行目まで

同左

著者は、成年後見制度施行前の平成11年8月から成年後見制度の活動に携わっていますので、成年後見制度の創成期に数多くの実務を経験をしました。

その経験した実務を活かして、市民がさらに利用しやすい成年後見制度を手にいれることができるようにするため、実務家として成年後見制度の貢献をすることが、初期の成年後見制度にかかわった者の役割であると思います。

削除

これから、益々、本人を支援しなければならない社会情勢になります。本人と家族や親族等との関係が複雑化すること、利害関係の対立があること、老老介護の問題が顕著化している現実があること、そして、本人が抱えている過去の紛争が最燃すること等、後見業務が遂行することが困難を極めていくことが予想されます。